

第 151 回 進化説

■古典的な進化説を挙げ、各々の内容について概説せよ。

- ・ ラマルク：用不用説（著書「動物哲学」）…「獲得形質が遺伝する」という誤り
- ・ ダーウィン：自然選択説（著書「種の起源」）…環境変異は区別できていなかった
- ・ ワグナー：隔離説
- ・ ド フリース：突然変異説

■進化に対する現在の考え方について説明せよ。

- ・ 総合説：集団遺伝学の他、自然選択,突然変異,遺伝的浮動,隔離など、さまざまな要因を総合的にとらえて進化のしくみを理解しようとする

※進化には「大進化（新たな種の形成）」と「小進化（種内での遺伝的变化）」があるが、現在でも進化の機構を説明できるのは後者に限られている